SDGs新聞

アスクル株式会社

きれいな海と生きものたちをゴミから救え!

▽ SDGsラジオを読んでみよう!

^{カル もんだい} 海のゴミ問題について、考えてみたことはありますか?

まずいかたこく あいだ つしま し うみ なが かんけい にほん ちか くに 九州と韓国の間にある対馬市には海の流れの関係で、日本や近くの国からたくさんのゴミが流れつきます。

そこでアスクルは、レジ袋などの売り上げの一部を寄付し、ゴミの片づけに役立てる取り組みを対馬市といっしょに始めました。

はい しゃいん つしまし
他にも、社員が対馬市でゴミひろいをする「スタディツアー」やイベントでゴミ問題の紹介をしたり、

 $\frac{50}{50}$ なが 海に流れついたゴミをゴミ箱やバスケットなどの商品につくりかえたりと、いろんなことをしているんですよ。 さあ、ゴミを減らすためにできることを考えてみましょう。

☑ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう!



たいかいからい対しにはいっていっています。 まなみ やく たいかいよう さな島があります。今、この対馬で問題になっているのが、ペットボトルやレジ袋などの「海洋プラスチックゴミ(以下『海洋ゴミ』)」がたくさん流れ着いてしまうことです。南北に細長く、入り組んだ海岸が多い対馬は、日本海の出入口あたりにあるため、海の流れや季節風によって、にほんかい かりょう という はにほんかい でいりぐち 日本や近くの国から海洋ゴミが運ばれてきてしまいます。そのせいで、島の美しい景色や海のいまものたち、漁をする人たちの仕事にもよくないことが起きています。海洋ゴミの問題をこのままにしておくと、やがて対馬が「ゴミのたまり場」になってしまうおそれがあります。

がぞうさんしょう つしま いち かいりゅう かんけい こうしきホームページ 画像参照:対馬の位置と海流との関係(アスクル公式HPより)



ができるいとう 画像参照:「TSUSHIMA × ASKUL project (つしま アスクル プロジェクト)」 スタディツアーの様子

そこで、文房具などいろいろな商品をネットで売っている会社「アスクル」は、プラスチックでできたレジ袋なども売る会社として、この問題にしっかりと向き合うことにしました。2021年2月、アスクルは対馬市と「SDGs連携協定」を結び、その第一歩として「TSUSHIMA×ASKUL project (つしま アスクル プロジェクト)」を立ち上げました。この取り組みは、レジ袋の売り上げの一部を対馬市に寄付して、海洋ゴミを拾って片づけることに役立てるというものです。また、アスクルの社員が対馬を訪れてゴミ拾いを行う「スタディツアー」を毎年行ったり、他にもさまざまなイベントで対馬の海洋ゴミ問題を紹介したりしています。さらにアスクルでは、海洋ゴミを集めて、ゴミ箱やバスケットなどの新しい商品に生まれ変わらせることにも取り組んでいます。こうした活動を通して、アスクルは海洋ゴミを減らし、きれいな海を守るための取り組みを続けています。

マキーワード

対馬

ながさきけん しま ひろ やく 物質があじんこう やく まんにん しま だいぶぶん さんち ゆた うみ かこ しぜん うつく しま 長崎県にある島です。広さは約700km、人口は約3万人、島の大部分が山地で、豊かな海に囲まれた自然あふれる美しい島です。

海洋プラスチックゴミ

ーラカト なが、で、 海に流れ出て、ただよっているペットボトルやレジ袋などのプラスチックゴミのことです。海の生きものが食べてしまうことがあります。

スタディツアー

 $\begin{bmatrix} x_1 & x_2 & x_3 & x_4 & x_5 &$

対象ゴール











みなさんにできること!

海洋ゴミを減らすためにはどうすればいいかを考えてみましょう。

おさらい

- 福岡市から北西に約130kmのところに「対馬」という大きな島がある。
- 対馬では、海に流れ着いた「海洋ゴミ」が問題になっている。
- アスクルは対馬市と協力して、海洋ゴミ問題を解決するためにさまざまな取り組みを行っている。

スて

~